

富士見市キラリと輝く創生総合戦略に定める数値目標について

資料1

数値目標		提供元(※総合戦略に記載されている課所)	策定時	H27末	H28末	H29末	H30末	R1末	R1(目標値)	指標から見える傾向	基本目標における達成度
「人」にあたたかい 富士見市 A	合計特殊出生率	埼玉県資料	1.35 (H26年)	1.54 (H27年)	1.33 (H28年)	1.30 (H29年)	1.27 (H30年)	1.16 (R1年)	1.40	全国的な傾向と同様に、本市においても合計特殊出生率が減少傾向となっている。	1/3 (33.3%)
	中学生以下の子どもを持つ方の子育て支援環境の充実に対する満足度	市民意識調査(P61)	58.9% (H27年度)	—	—	61.8% (H30年度)	—	—	65.0%	平成29年度より子ども未来応援センターを開所し、妊娠から子育て期まで切れ目ない支援を推進しており、満足度は増加傾向にある。	
	65歳健康寿命(65歳に達した後、健康で自立した生活を送る期間、「要介護2」以上になるまでの期間)	埼玉県資料	男性 16.37年 女性 18.87年 (H25年度)	男性 16.79年 女性 19.53年 (H27年度)	男性 16.95年 女性 19.63年 (H28年度)	男性 17.17年 女性 19.74年 (H29年度)	男性 17.15年 女性 19.95年 (H30年度)	—	男性 16.85年 女性 19.75年	健康寿命は概ね伸びており、市内の高齢者の介護予防や健康づくり活動といった事業の実施が、着実に成果に結びついている。なお、令和2年度より、フレイルチェック事業を開始した。	
「暮らし」にやさしい 富士見市 B	定住に関する意識において「住みよい」と感じている方の割合	市民意識調査(P13)	72.8% (H27年度)	—	—	74.0% (H30年度)	—	—	75.0%	空き家の除却・利活用、狭小地等統合への補助や主要交差点へのボラード※や車両用防護柵の設置をはじめとした安心・安全な住環境や交通環境の整備も進んでおり、住みよいという方の割合は増加傾向にある。	1/3 (33.3%)
	定住に関する意識において「住み続けたい」と感じている方の割合	市民意識調査(P17)	76.3% (H27年度)	—	—	77.4% (H30年度)	—	—	78.0%	就職や就学を機に転出を希望される方も見受けられるが、上記のとおり住環境や交通環境の整備も進んでおり、住み続けたいという方の割合は増加傾向にある。	
	転入者数	住民基本台帳	6,147人 (H26年度)	6,489人 (H27年度)	6,240人 (H28年度)	6,244人 (H29年度)	6,430人 (H30年度)	6,722人 (R1年度)	6,500人	放課後児童クラブの待機児童「0」など、子育て支援策の充実や、犯罪率の減少など安全安心なまちづくり、近年の大規模商業施設や宅地開発等も進んでおり、転入者が増加している。	
「仕事」をつくる 富士見市 C	商業の振興に対する満足度	市民意識調査(p88)	25.3% (H27年度)	—	—	37.5% (H30年度)	—	—	50.0%	賑わいの創出や新たな創業者の確保など、商業の振興に取り組んでおり、満足度は増加傾向にある。また、昼夜間人口比率の割合も増加傾向にあり、市内で就労している方の割合も増えつつあることがうかがえる。	0/3 (0%)
	農業の振興に対する満足度	市民意識調査(P86)	36.2% (H27年度)	—	—	44.7% (H30年度)	—	—	50.0%	後継者不足や新規就農者不足などの課題を抱えているが、認定農業者等チャレンジ支援事業や農地の集約・集積に向けた取組など農業者への支援を行っており、満足度は増加傾向にある。	
	従業者数	H26経済センサス	23,338人 (H26年)	—	24,668人 (H28年)	—	—	—	30,000人	平成27年度の大型商業施設の開業もあり、従業者数は増加傾向にあると見られる。また創業者支援等により、空き店舗を活用した新規出店数も増えており、市内での雇用の場が増えつつある。	

数値で赤字のものは、直近の年度実績値がR1(目標値)に対して未達となっているものです。

※ボラード: 路上に設置して車の通行・進入を防ぐための鉄の杭。